

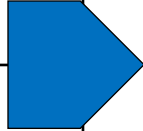
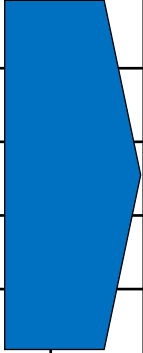
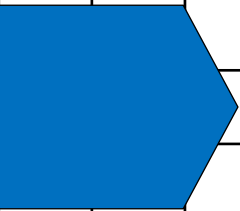
令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業
中間報告資料（11/18）

未病状態のからだケア

素材～製品・サービス異業種連携での
ワークショップを通じた行動変容プログラムの提供

東レ株式会社

当初の事業計画

実施事項			2022						2023		
項目	目的	内容	7	8	9	10	11	12	1	2	3
準備	適切な被験者の抽出	アンケート実施									
	生活情報記録開始	キックオフの実施									
ワークショップ①	セミナー実施	S R H R とフェムテック									
	座談会実施 各社リソース提供 正しい製品知識の習得	医療D X									
		痛みのコミュニケーション									
		機能性化粧品									
		女性ホルモンと健康									
ワークショップ②	課題の抽出・体験シェア	アンケート実施									
	製品・サービス体験	希望者に実施									
	顧客生涯価値の評価	アンケート実施									
	全体寄り添う環境づくり	各企業へのフィードバック									
システム	D W P の要件定義	記録項目の設定									
		課題抽出、価値評価									

事業計画に基づき実施したこと

セミナーと座談会からなるワークショップ①を実施（８月～１０月）

担当	区分	対象者	満足度	NPS
ネクイノ	セミナー SRHRとフェムテック	110	8.5	18%
ネクイノ	医療DX	18	8.8	28%
PWS	CBDとは何か	18	8.9	28%
東レ	痛みのコミュニケーション	15	8.2	6%
あすか製薬	ホルモンと女性の健康	18	8.7	49%
(新規協力団体として参加)				
シミック	セルフ検査・行動プラン検討プログラム	10	8.4	37%

Q:ワークショップを受けたことであなたにどんな変化がありましたか？

- CBDは利用の仕方で女性の悩みを解決する手段の一つとなりうることを知った。
- 月経について話す機会はなかなかないので、座談会でお話する機会があり、共感を得られることで心が穏やかになった。
- イライラしていると自分が嫌になることが多いけど、ホルモンのせいだと考えて自分に優しくなれそうです。また、多くの方が年代に応じて様々な悩みを抱えていて何か力になりたいし、社会全体の理解が生きていきやすい社会を作っていくと感じました。

事業を実施してわかってきたことや課題

課題

- 業務時間中にセミナー参加時間を取れない。自己啓発的であり優先度が下がる。
- アーカイブ視聴も業務時間には割けないが、セキュリティ上、会社PCから個人PCへアーカイブリンク先を転送することができない。
- 徐々にリアルタイム参加者が減少、受け身型の印象
- 自身の職場環境・適合性を狭い視野で考えがち
- 社内での「フェムテック」普及・浸透度がまだ低い

対策

参加率アップ

- せめてランチ時間での開催が良いか
- 上司の理解も必要であり、前半の振り返りと後半の予定を上司へも共有（東レ実施⇒各社へ結果共有・展開）

コンパス表示

- 各取り組みの目的を明確に参加者に伝える（準備中）

普及・浸透

- 労務主導による、フェムケアに対する全社啓もう活動（月曜朝の定例会で、PWS担当者よりフェムケアの重要性についてプレゼン）
- 上記を受け、労務で今後社内福利厚生の一環としてフェムケアを導入するか検討を開始（PWS）
- 既にあるコンプライアンスや人権啓発教育へ組み込み、フェムテック関連を普及・浸透（東レ）
- 1期生である今年度の参加者からどう次へ広げていくか、参加者からキーパーソンを選定し、広い目線を20代から気づける仕組みづくりの検討を開始する

今後、実施すること

● ワークショップ②（製品・サービス体験）、DWP要件定義

実施事項			2022				2023		
項目	目的	担当	9	10	11	12	1	2	3
ワークショップ②	自分を知る（ストレス:コルチゾール）	あすか製薬メディカル		▼毛髪採取 1回目			▼毛髪採取 2回目		
	自分を知る（エストロゲン/プロゲステロン）	あすか製薬メディカル		←→			黄体期・月経期での2回の唾液採取		
	相談する（オンライン健康相談）	ネクイノ		←→					
	体験する（ピル処方）	ネクイノ		←→					
	体験する（CBD）	PWS		←→					
	行動する（自己採取HPV検査）（仮）	シミックソリューションズ		←→					
システム	DWP 要件定義（記録項目等）	東レ	現状把握▼	←→					
医療監修	安全性確保・本質課題抽出	MFC、滋賀医大		※要協議					

● 行動変容を促す交流イベント（新規）

日時：2022年12月22日 オンサイト開催

本事業の医療監修担当の一般社団法人メディカル・フェムテック・コンソーシアム
松本玲央奈先生（産婦人科専門医）と参加者同士のリアル交流会